

平川市立地適正化計画

(案)

目 次

第1章 立地適正化計画制度の概要	1
1.1 計画策定の背景と目的	1
1.2 立地適正化計画の位置づけ	1
1.3 計画の対象範囲	3
1.4 計画の目標年次	3
第2章 平川市の現状分析	4
2.1 地理的自然的条件	4
2.2 人口	5
2.3 土地利用	11
2.4 公共交通	14
2.5 都市機能	17
2.6 地価	37
2.7 防災	39
第3章 将来見通し	45
3.1 国立社会保障・人口問題研究所による推計値	45
3.2 100mメッシュ別の人口推計	46
第4章 持続可能なまちづくりに向けた課題の整理	52
4.1 課題の抽出	52
4.2 解決すべき課題の整理	53
第5章 まちづくりの方針	54
5.1 まちづくりの基本方針(ターゲット)	54
5.2 目指すべき都市の骨格構造	56
5.3 課題解決のための施策・誘導方針の検討	58
第6章 都市機能誘導区域の検討	60
6.1 都市機能誘導区域設定の基本的な考え方	60
6.2 都市機能誘導区域の設定	61
第7章 居住誘導区域の検討	65
7.1 居住誘導区域設定の基本的な考え方	65
7.2 居住誘導区域の設定	66
第8章 誘導施設の検討	73
8.1 基本的な考え方	73
8.2 都市機能誘導施設の設定の考え方	74
8.3 都市機能誘導施設の設定	75
第9章 誘導施策の検討	77
9.1 都市機能誘導に係る施策	77
9.2 居住誘導に係る施策	78
9.3 公共交通ネットワークに係る施策	79

第10章 防災指針の検討.....	80
10.1 防災指針について.....	80
10.2 防災・減災まちづくりに向けた課題の抽出.....	81
10.3 防災まちづくりの将来像、取組方針の検討.....	88
10.4 具体的な取組とスケジュール.....	89
第11章 定量的な目標値等の検討.....	91
11.1 目標指標設定の基本的な考え方.....	91
11.2 各分野の目標指標.....	91
11.3 期待される効果.....	92
第12章 地域生活拠点の検討.....	93
12.1 地域生活拠点の基本的な考え方.....	93
12.2 現状分析.....	94
12.3 地域生活拠点の範囲検討.....	100
第13章 施策の達成状況に関する評価方法の検討.....	110
13.1 計画の評価・見直し.....	110

1.2.3 立地適正化計画と都市計画マスタープランの関係

立地適正化計画は、都市計画マスタープランにおいて示される平川市全体のまちづくりの方向性を受けながら、コンパクト・プラス・ネットワークの形成を実現していくために、居住や都市機能の誘導に関する施策等を取り決める計画として位置づけられています。



図1.2.2 立地適正化計画の位置づけ

1.2.4 立地適正化計画の構成

立地適正化計画の構成は、概ね以下のとおりです。

① まちづくりの方針(ターゲット)

どのようなまちを目指すのか、対象と目的を定めます。

② 目指すべき都市の骨格構造

どこを都市の骨格にするのか、どこに、どのような機能を誘導するのか、将来都市構造を踏まえて、居住や都市機能を誘導していくべき拠点や拠点間を結ぶ公共交通等の基幹となるネットワークを位置づけます。

③ 誘導区域等、誘導施設

居住を誘導する「居住誘導区域」、都市機能を誘導する「都市機能誘導区域」、具体的に誘導する施設である「都市機能増進施設(以下「誘導施設」という。)」を設定します。

④ 誘導施策

都市が抱える課題をどのような手段で解決するのかや、施設を誘導するために、どのような施策を具体的に講じるのかを示します。

⑤ 定量的な目標値等の設定

誘導施策の効果を客観的かつ定量的に検証・評価し、適切に見直ししながら計画を運用していくための評価指標及びその目標値を設定します。

1.3 計画の対象範囲

立地適正化計画は、原則として「都市計画区域」が対象範囲となりますが、市全体として持続可能なまちの実現を目指し、市全体を対象範囲とします。



図1.3.1 立地適正化計画の対象範囲

1.4 計画の目標年次

本計画の計画期間は、平川市都市計画マスタープランとの整合を図り、目標年次は「令和 27 年度(2045 年度)」とします。

第2章 平川市の現状分析

2.1 地理的自然的条件

2.1.1 位置・地勢

- 青森県南部、津軽平野の南端に位置しており、東は十和田市と秋田県小坂町、西は平川を隔てて弘前市、大鰐町と接し、北は青森市、黒石市、田舎館村、南は秋田県に接した錨型をなしています。
- 市の総面積は 346.01 km²で、県域の約 3.6%を占めています。
- 農業に適した肥沃な土壌の地質を持ち、水田地帯として利用される平坦地と、標高 20～300 メートルの丘陵地で水稻とりんごの複合経営地帯として活用されている台地、八甲田・十和田火山群の一部に属した山間地があります。
- 緑が多く、人々が快適な生活を送れる自然環境を保っており、四季の移り変わりが美しく、また、自然災害も比較的少なくなっています。

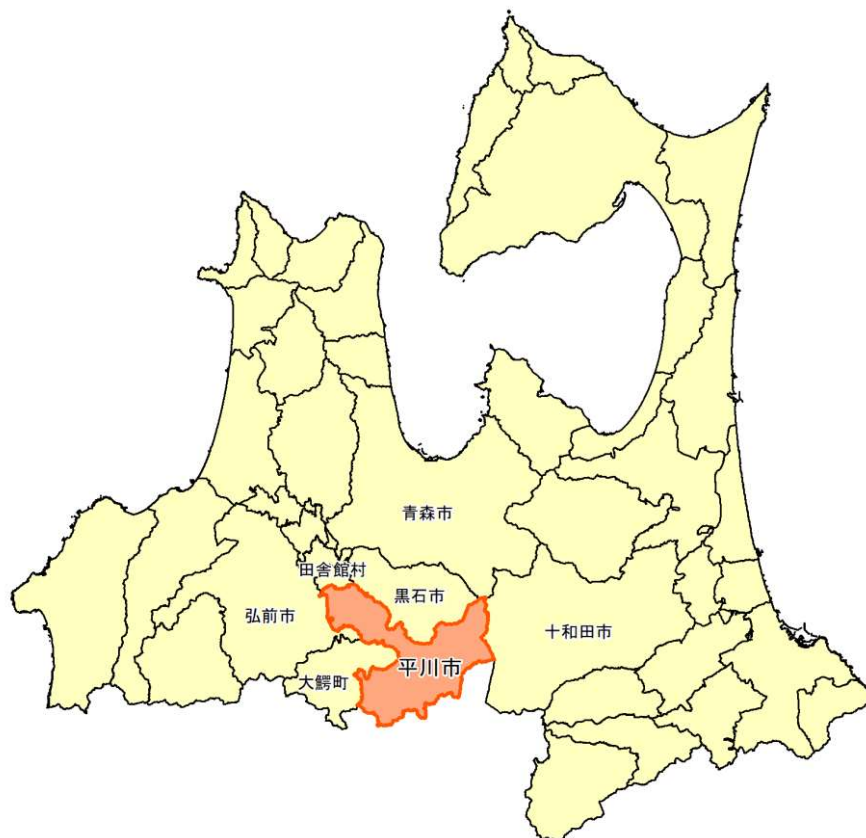


図2.1.1 位置図

2.2 人口

2.2.1 総人口・総世帯数

- 総人口は一貫して減少傾向である
- 総世帯数は平成7年(1995年)以降、横ばい傾向である
- 世帯あたり人員は減少傾向である

○令和2年(2020年)における総人口は30,567人であり、平成7年(1995年)の36,876人から6,309人の減少となっています。

○令和2年(2020年)における総世帯数は10,049世帯であり、平成7年(1995年)以降、横ばい傾向で推移しています。

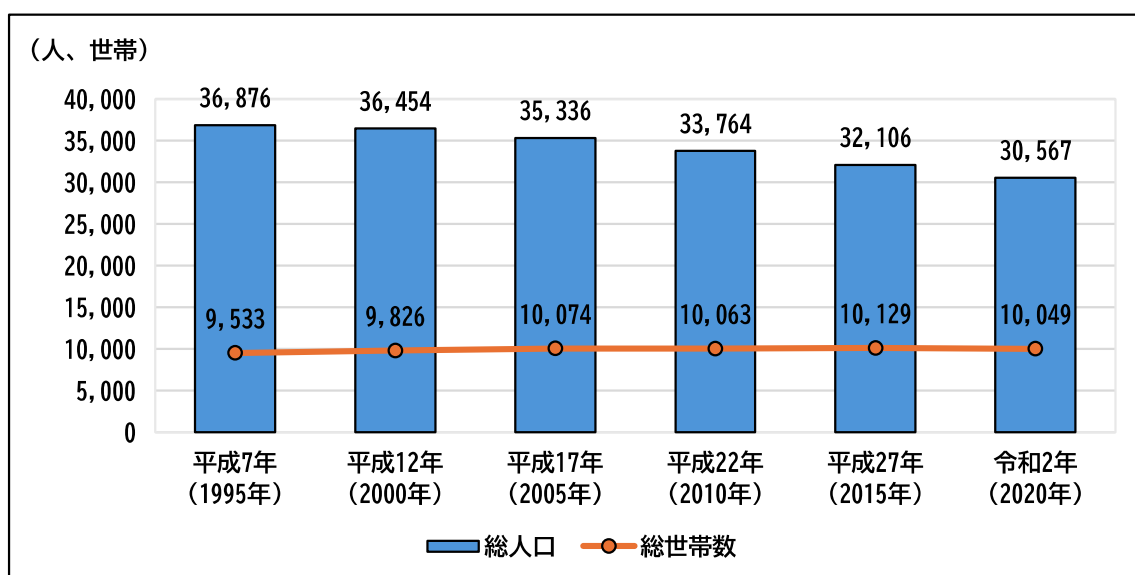
○世帯あたり人員は平成7年(1995年)の3.87人/世帯から減少傾向で推移しており、令和2年(2020年)の3.04人/世帯まで減少しています。

表2.2.1 人口と世帯数の推移

	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
総人口 (人)	36,876	36,454	35,336	33,764	32,106	30,567
総世帯数 (世帯)	9,533	9,826	10,074	10,063	10,129	10,049
世帯あたり人員 (人/世帯)	3.87	3.71	3.51	3.36	3.17	3.04

出典：国勢調査

図2.2.1 人口と世帯数の推移



2.2.2 年齢別人口

- 年少人口、生産年齢人口はともに減少傾向、老年人口は増加傾向にあり、少子高齢化が進行している
- 高齢化率は一貫して増加傾向である

○令和 2 年(2020 年)の年少人口は 3,282 人(10.7%)、生産年齢人口は 16,504 人(54.0%)、老年人口は 10,777 人(35.3%)となっています。

○平成 7 年(1995 年)以降、年少人口、生産年齢人口が減少する一方、老年人口は 1.5 倍以上に増加しており、高齢化率も一貫して増加しています。

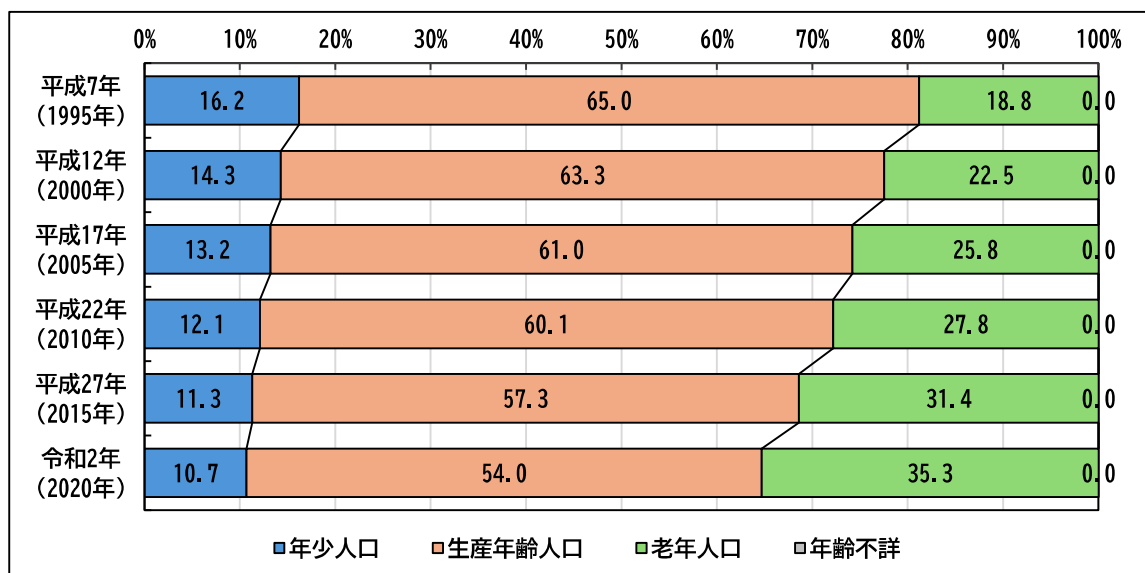
○令和 2 年(2020 年)の青森県の老年人口と比較すると、本市の老年人口の構成比が 1.9% 高くなっています。

表 2.2.2 年齢 3 区分別人口の推移

【平川市】	年少人口		生産年齢人口		老年人口		年齢「不詳」(人)		総人口 (人)
	15 歳未満 (人)	構成比 (%)	15 歳以上 65 歳未満 (人)	構成比 (%)	65 歳以上 (人)	構成比 (%)		構成比 (%)	
平成 7 年 (1995 年)	5,963	16.2	23,984	65.0	6,929	18.8	0	0.0	36,876
平成 12 年 (2000 年)	5,207	14.3	23,060	63.3	8,187	22.5	0	0.0	36,454
平成 17 年 (2005 年)	4,671	13.2	21,554	61.0	9,111	25.8	0	0.0	35,336
平成 22 年 (2010 年)	4,081	12.1	20,292	60.1	9,391	27.8	0	0.0	33,764
平成 27 年 (2015 年)	3,634	11.3	18,384	57.3	10,085	31.4	3	0.0	32,106
令和 2 年 (2020 年)	3,282	10.7	16,504	54.0	10,777	35.3	4	0.0	30,567
【青森県】 令和 2 年 (2020 年)	129,112	10.4	676,167	54.6	412,943	33.4	19,762	1.6	1,237,984

出典：国勢調査

図 2.2.2 年齢 3 区分別人口の推移



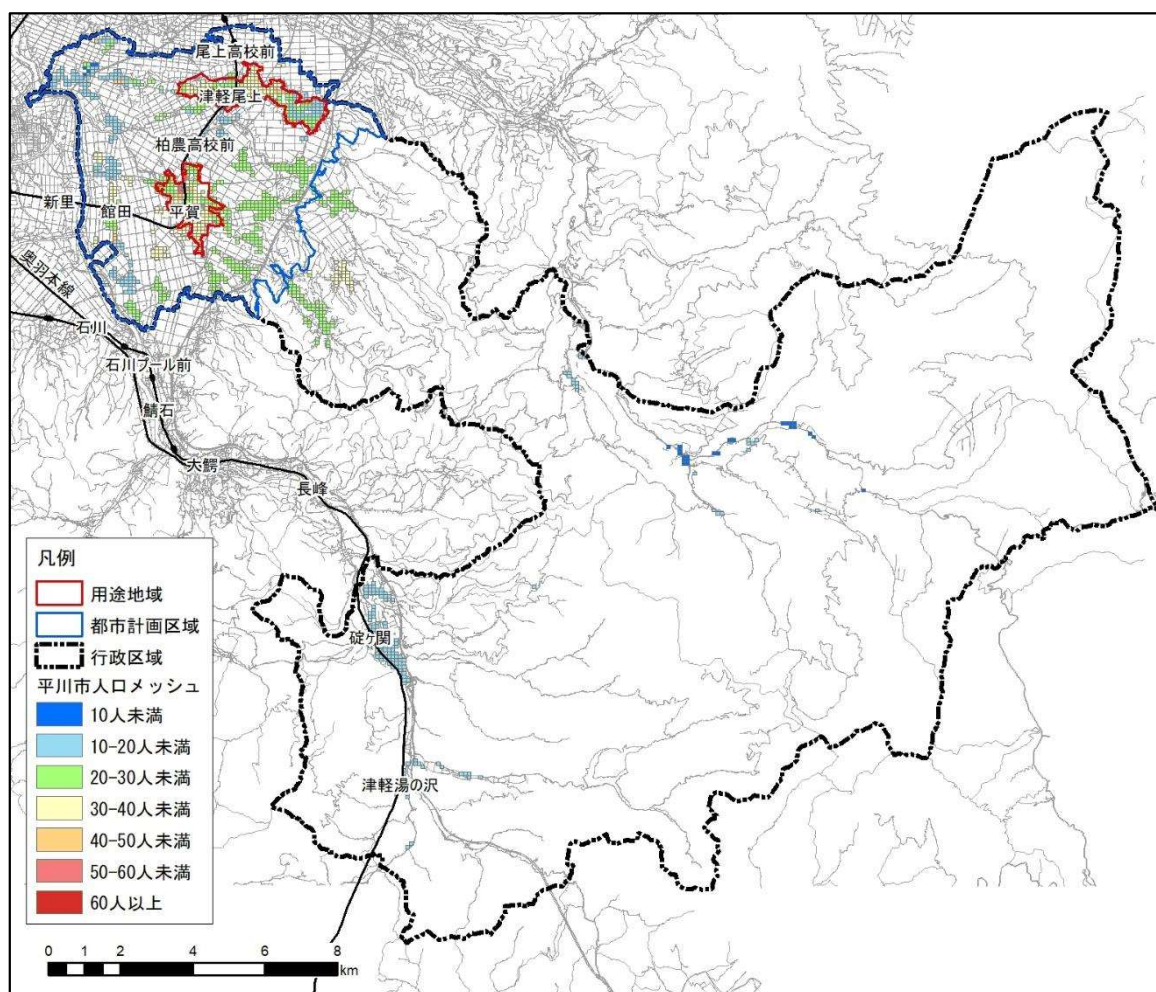
2.2.3 100mメッシュ別人口密度

■平賀駅周辺及び津軽尾上駅周辺において人口密度の高い市街地が形成されている

○令和2年(2020年)の人口の分布状況を見ると、市街化区域では、平賀駅周辺及び津軽尾上駅周辺において、30人以上のメッシュが多くなっており、人口密度の高い市街地を形成しています。

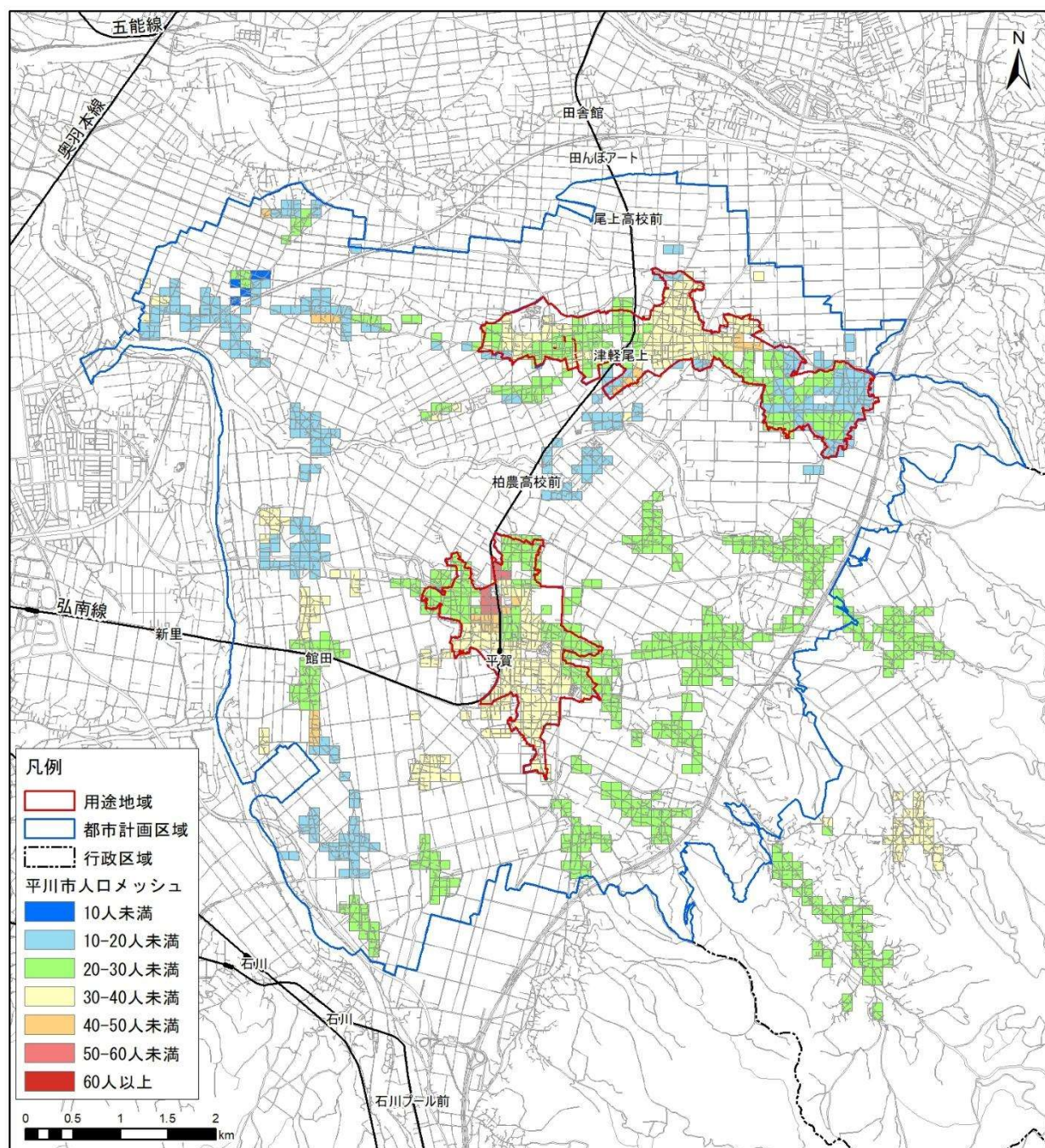
○市街化調整区域にある集落地は、10～20人未満、20～30人未満となっています。

図2.2.3 100mメッシュ人口(令和2年(2020年)平川市行政区域)



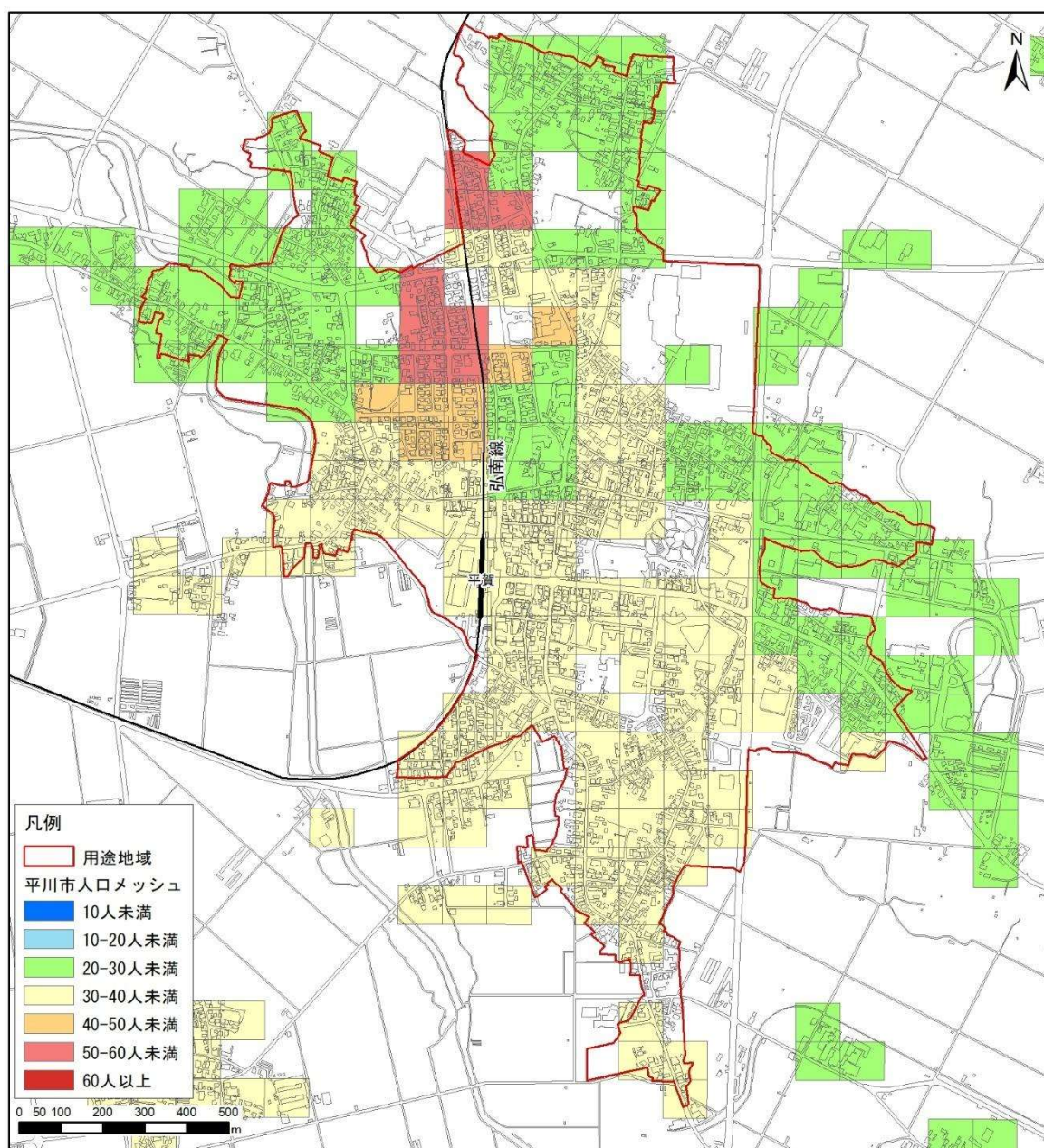
出典：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」

図2.2.4 100mメッシュ人口(令和2年(2020年)都市計画区域)



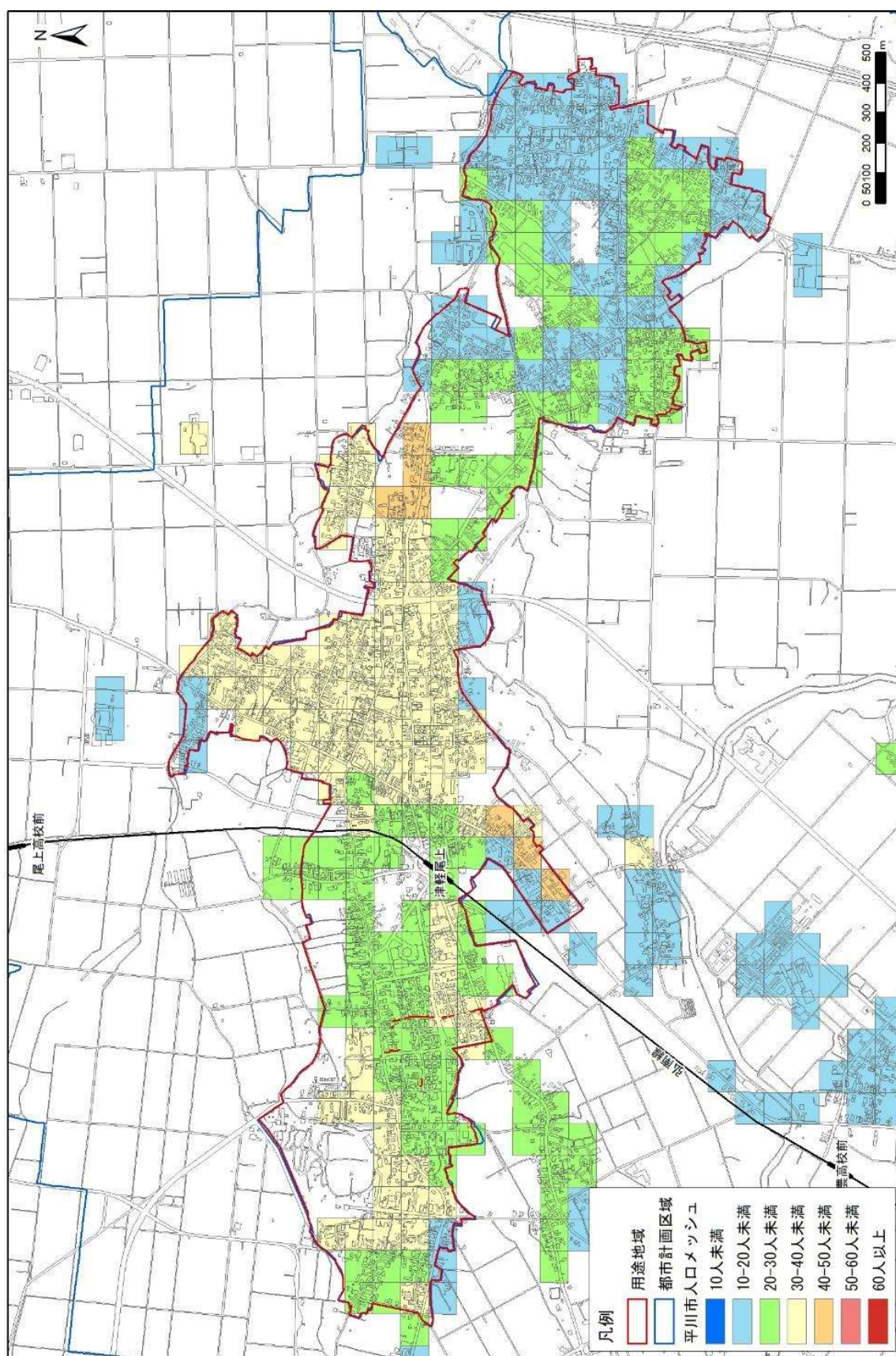
出典：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」

図2.2.5 100mメッシュ人口(令和2年(2020年)用途地域)(平賀地域)



出典：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」

図2.2.6 100mメッシュ人口(令和2年(2020年)用途地域)(尾上地域)



出典：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」

2.3 土地利用

2.3.1 都市計画の指定状況

■都市計画区域内において、市街化区域は約 9%を占めている

○都市計画区域は、4,849ha で、市域の約 14%を占めています。

○市街化区域は、426.8ha で、都市計画区域全体の約 9%を占めていますが、行政区域全体では、約 1.2%と僅かな割合となっています。

○一方、都市計画区域外となる区域は、29,752ha で、市域の約 86%を占めています。

表 2.3.1 都市計画の指定状況

区域名		面積(ha)	都市計画区域に占める割合 (%)	行政区域に占める割合 (%)
	市街化区域	426.8	8.8	1.2
	市街化調整区域	4,422.2	91.2	12.8
	都市計画区域(計)	4,849.0	100.0	14.0
	都市計画区域外	29,752.0	-	86.0
平川市全域		34,601.0	-	100.0

出典：令和 4 年度都市計画基礎調査

2.3.2 用途地域の指定状況

■用途地域内の面積において、第一種住居地域が約 8 割を占めている

○住居系用途地域では、第一種住居地域の割合が最も高く、用途地域全体の約 8 割を占めています。

○商業系用途地域の近隣商業地域、商業地域を合わせても用途地域全体の 1 割以下となっています。

○準工業地域は、用途地域全体の 2.5%を占めています。

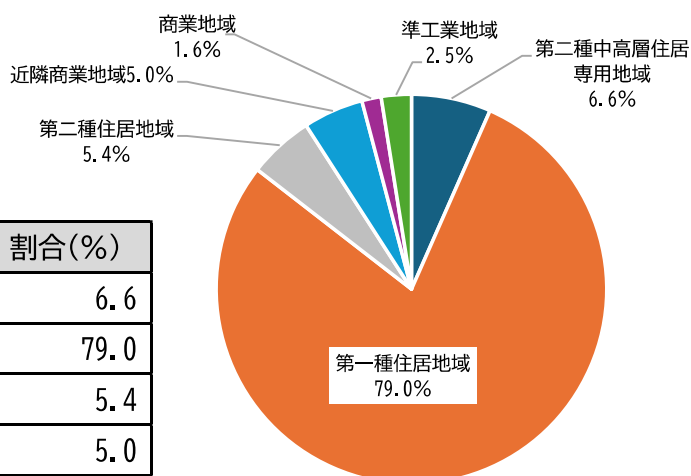


表 2.3.2 用途地域の指定状況

用途地域名	面積(ha)	割合 (%)
第二種中高層住居専用地域	28.0	6.6
第一種住居地域	336.5	79.0
第二種住居地域	22.8	5.4
近隣商業地域	21.4	5.0
商業地域	6.8	1.6
準工業地域	10.6	2.5
計	426.1	100.0

出典：令和 4 年度都市計画基礎調査

2.3.3 地目別土地利用状況

■市街化区域内の都市的土地利用は、住宅用地が約 6 割を占めている

○後述する各誘導区域の対象となる市街化区域内の都市的土地利用を見ると、住宅用地(203.2ha)の割合が最も高く、次いで、道路用地(51.9ha)、公共・公益施設用地(29.1ha)の順となっています。

表 2.3.3 土地利用状況

単位：ha

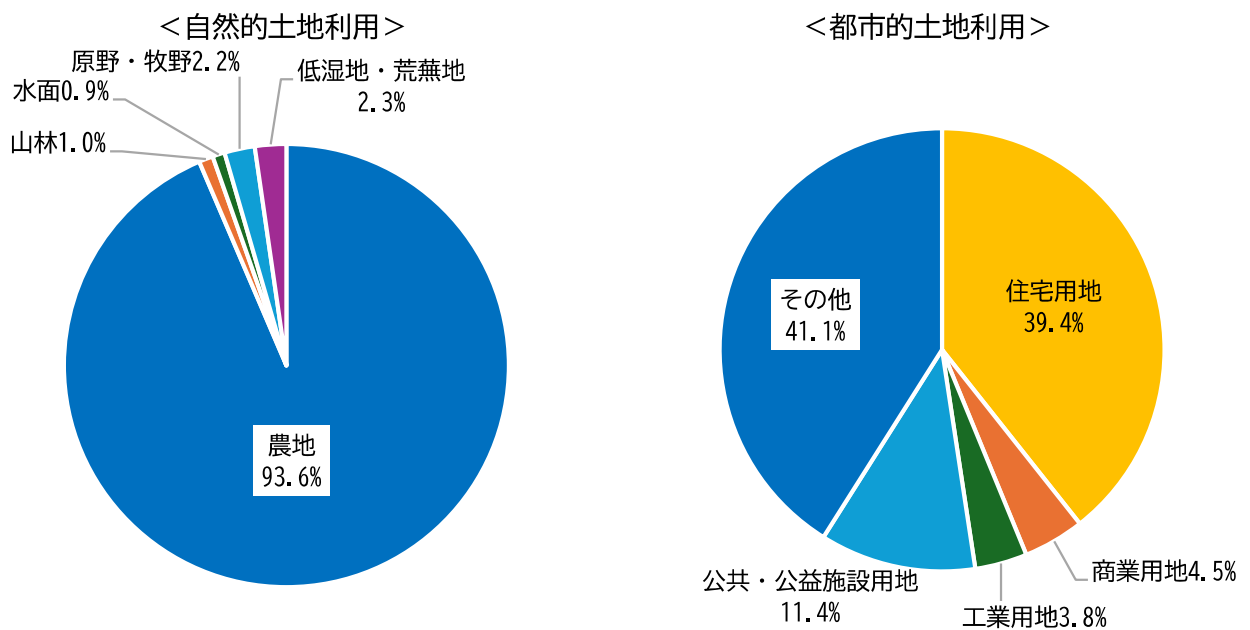
	自然的土地利用							
	農地			山林	水面	原野・牧野	荒蕪地・低湿地	合計
	田	畑	計					
市街化区域	2.9	63.2	66.1	1.4	2.6	1.1	0.7	71.9
市街化調整区域	2,227.3	1,036.8	3,264.1	35.5	29.1	77.6	80.4	3,486.8
合計	2,230.2	1,100.0	3,330.2	36.9	31.7	78.7	81.1	3,558.7

単位：ha

	都市的土地利用												
	宅地				農林 用地 ・ 漁業 施設	公共 ・ 公益 施設 用地	道路 用地	交通 施設 用地	公共 空地	防衛 施設 用地	その他 の空地	未利用 地	合計
	住宅 用地	商業 用地	工業 用地	小計									
市街化区域	203.2	24.7	13.4	241.2	6.8	29.1	51.9	2.3	13.5	0.0	1.8	8.2	354.9
市街化調整区域	304.6	32.9	35.5	373.0	37.6	117.4	307.1	15.6	15.7	0.0	6.6	62.6	935.4
合計	507.8	57.6	48.9	614.2	44.4	146.5	359.0	17.9	29.2	0.0	8.4	70.8	1290.3

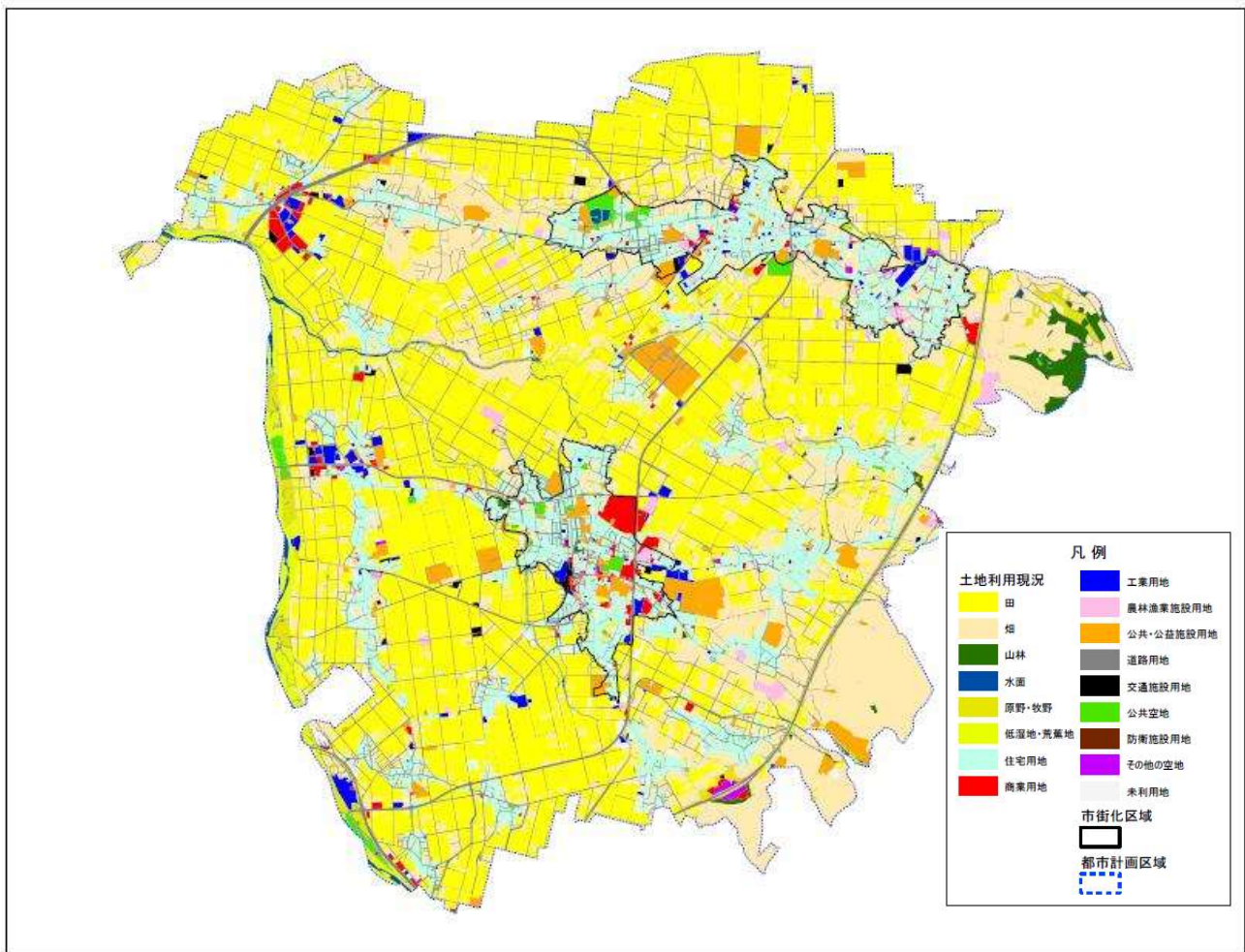
出典：令和 4 年度都市計画基礎調査

図 2.3.1 土地利用状況



出典：令和 4 年度都市計画基礎調査

図2.3.2 土地利用現況図



出典：令和4年度都市計画基礎調査

2.4 公共交通

2.4.1 鉄道

■市内の鉄道駅利用者数は、弘南鉄道の平賀駅が最も多い

■碓ヶ関駅の年間利用者数は、平成26年度(2014年度)以降減少傾向にある

○鉄道駅の年間利用者数は、弘南鉄道の平賀駅が最も多く、令和5年度(2023年度)で135,808人/年となっています。

○JR 碓ヶ関駅の利用者数は減少傾向にあり、令和5年度(2023年度)で47,580人/年となっています。

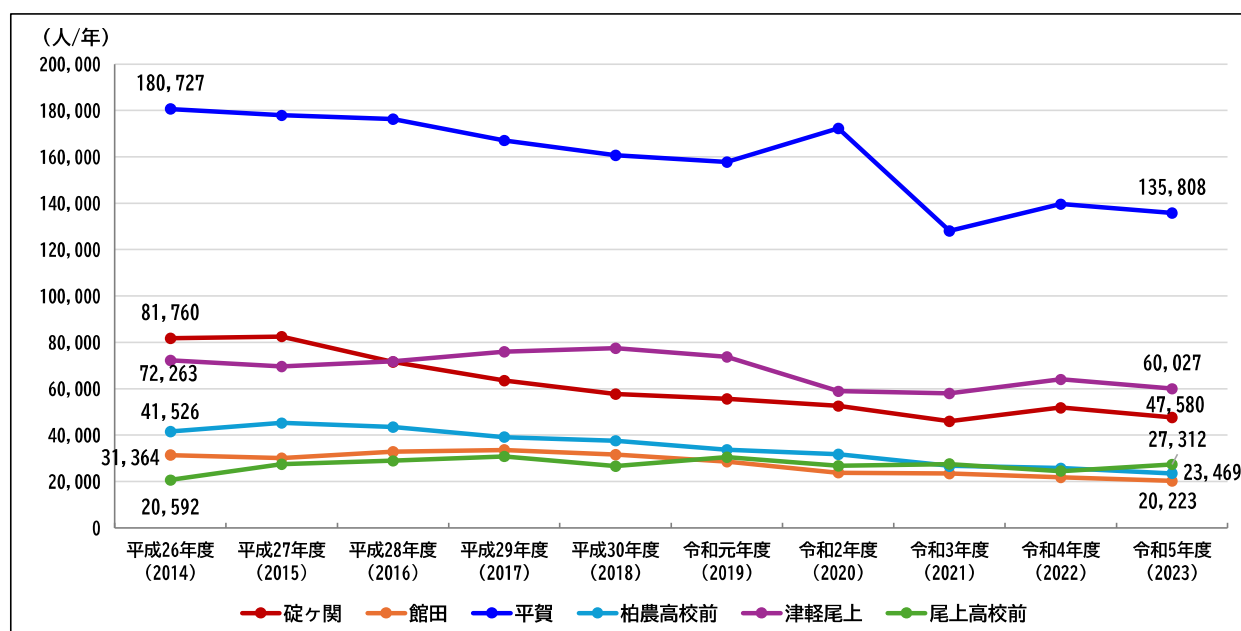
表2.4.1 鉄道駅の年間利用者数の推移

単位：人／年

路線名	駅名	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
JR奥羽本線	碓ヶ関	81,760	82,490	71,540	63,510	57,670	55,632	52,560	45,990	51,830	47,580
	津軽湯の沢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	81,760	82,490	71,540	63,510	57,670	55,632	52,560	45,990	51,830	47,580
弘南鉄道	館田	31,364	30,035	32,828	33,606	31,602	28,596	23,775	23,422	21,748	20,223
	平賀	180,727	177,946	176,285	167,083	160,688	157,752	172,250	128,094	139,629	135,808
	柏農高校前	41,526	45,240	43,419	39,166	37,551	33,673	31,725	26,694	25,773	23,469
	津軽尾上	72,263	69,609	71,724	75,966	77,493	73,774	58,917	57,984	64,078	60,027
	尾上高校前	20,592	27,436	28,870	30,776	26,638	30,438	26,759	27,547	24,501	27,312
	計	346,472	350,266	353,126	346,597	333,972	324,233	313,426	263,741	275,729	266,839

出典：JR 東日本、弘南鉄道株式会社

図2.4.1 鉄道駅の年間利用者数の推移



2.4.2 バス

- バス交通は民間路線バス、市の碓ヶ関・平賀線バス等が運行している
- 新たなデマンド交通「のらっさ」が令和6年(2024年)12月より運行している

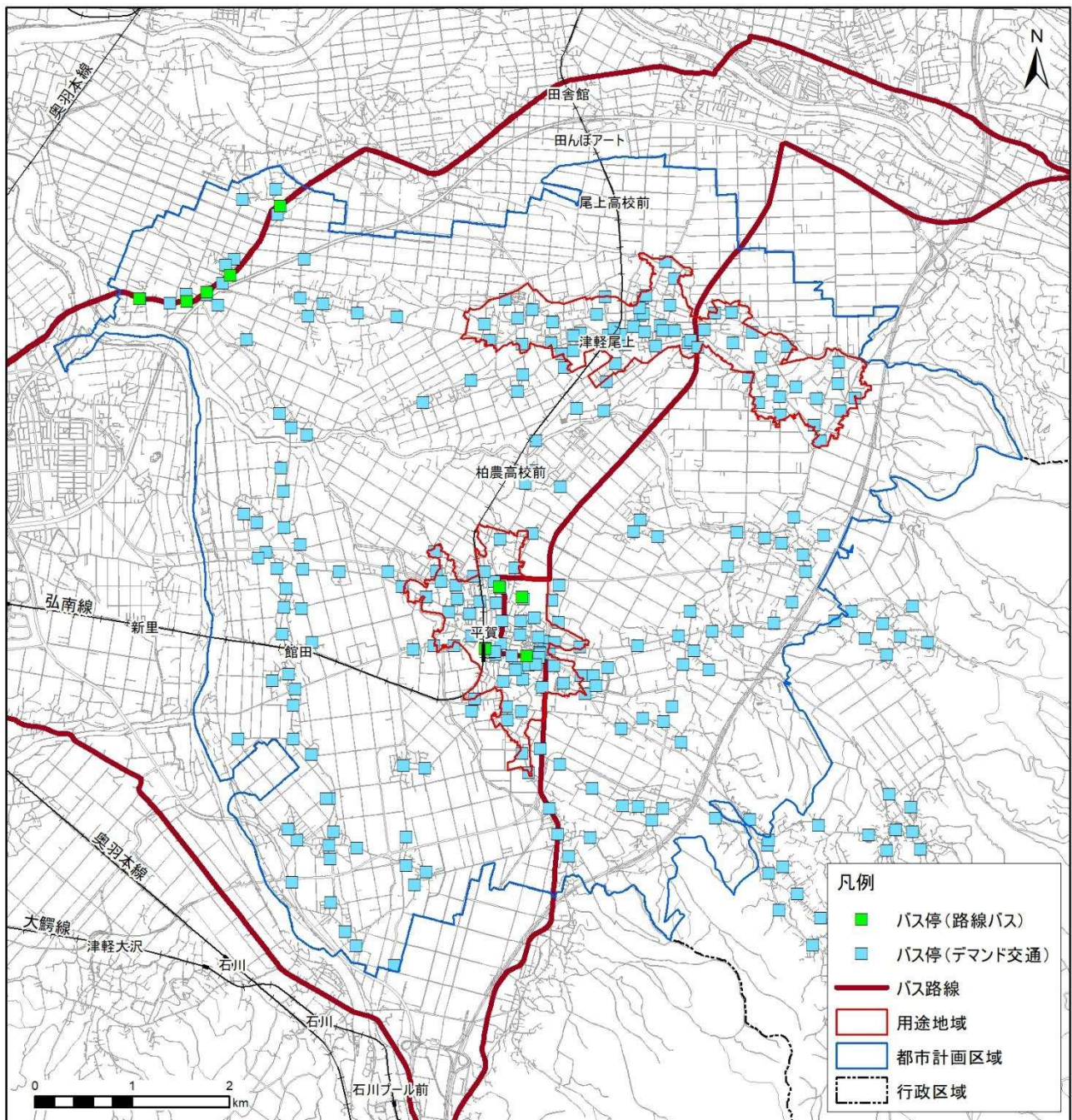
- 市内のバス交通は、民間路線バス、公営路線バスをあわせ4路線が運行しています。
- 乗降客総数(日平均)は弘前～黒石線が113人/日で最も多くなっています。
- 運行頻度(平日)においても、弘前～黒石線が12本/日で最も多くなっています。
- 令和6年(2024年)12月より、デマンド交通「のらっさ」が、平賀地域(東部地区を除く)及び尾上地域を対象に運行しています。

表2.4.2 バスの乗降客数・運行状況

区分	事業者名	路線名	乗降客総数 (日平均)	運行頻度 (平日)
路線バス (民間)	弘南バス(株)	弘前～黒石線	113	12/日
		板留～南高校線	-	1/日
その他	平川市	碓ヶ関・平賀線	-	5/日
		東部・平賀線(予約型乗り合いタクシー)	-	4/日

出典：令和4年度都市計画基礎調査より作成

図2.4.2 バス運行路線



出典：令和4年度都市計画基礎調査、平川市HP資料より作成

2.5 都市機能

2.5.1 行政施設

都市計画区域内の行政施設としては、平賀地域に市役所、尾上地域に支所が立地し、都市計画区域外の碓ヶ関地域、東部地区に支所がそれぞれ立地しています。

図2.5.1 行政施設の分布状況(平賀・尾上地域周辺)

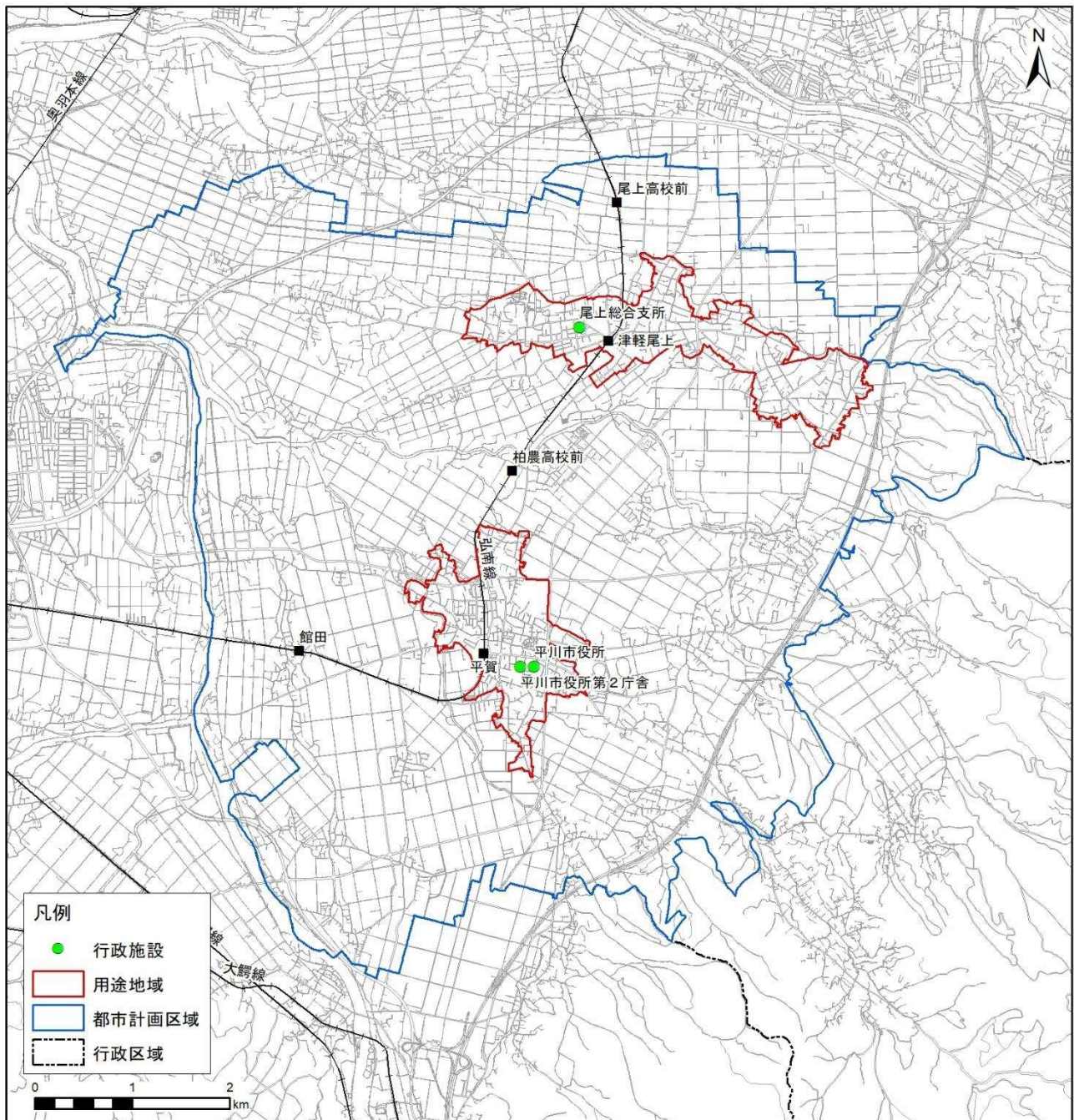


図2.5.2 行政施設の分布状況(碓ヶ関・東部地区周辺)

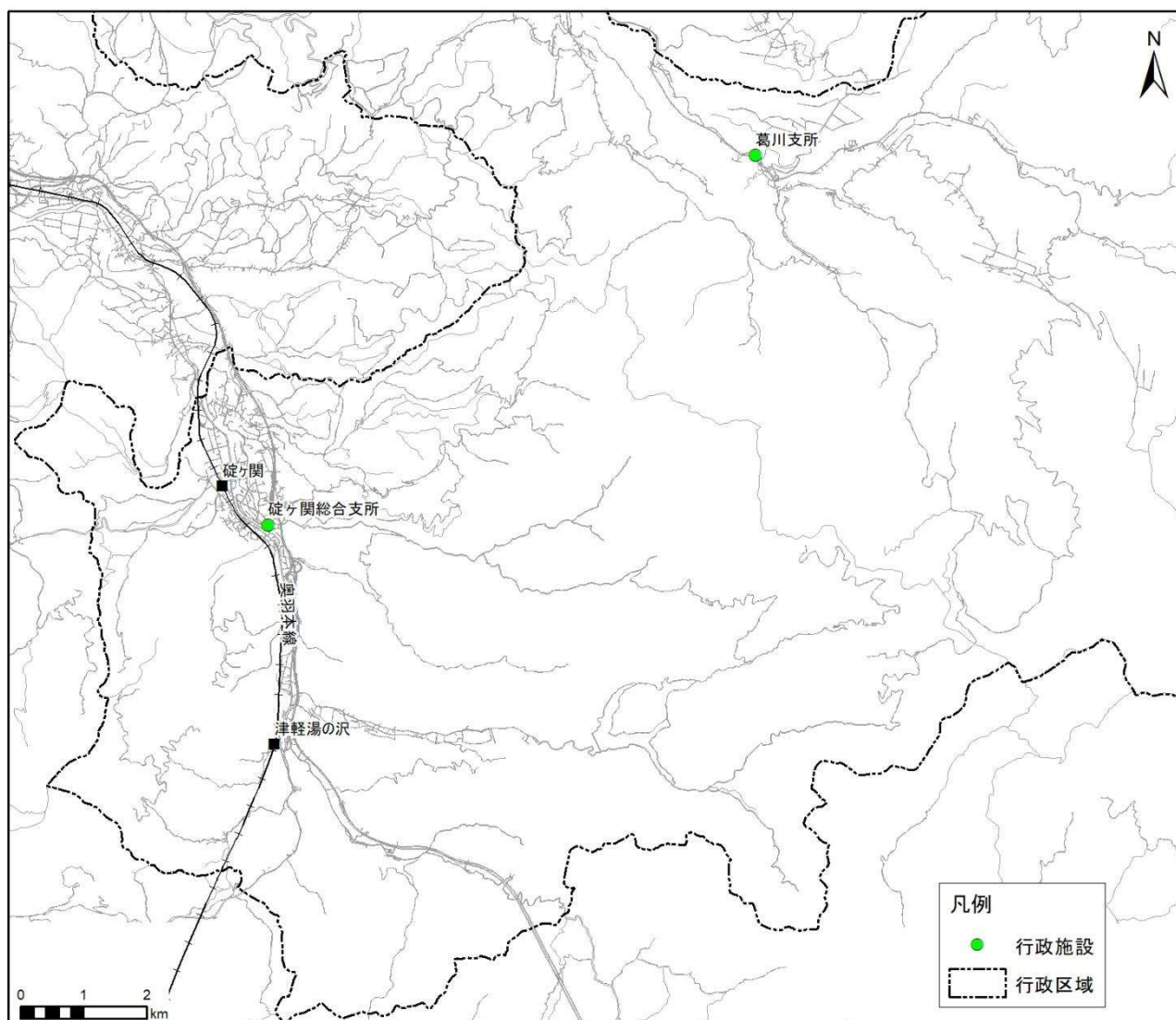


表2.5.1 行政施設リスト

No	分類	名称	住所
1	市役所	平川市役所	柏木町藤山 25 番地 6
2	市役所	平川市役所第 2 庁舎	柏木町藤山 16 番地 1
3	支所	尾上総合支所	猿賀南田 15 番地 1
4	支所	碓ヶ関総合支所	碓ヶ関三笠山 78 番地
5	支所	葛川支所	葛川田の沢口 5 番地 1

2.5.2 介護・福祉施設

デイサービスセンター等の介護・福祉施設(入所、入居を除く)は都市計画区域内を中心に広く分布しています。

図2.5.3 介護・福祉施設(入所、入居を除く)の分布状況(平賀・尾上地域周辺)

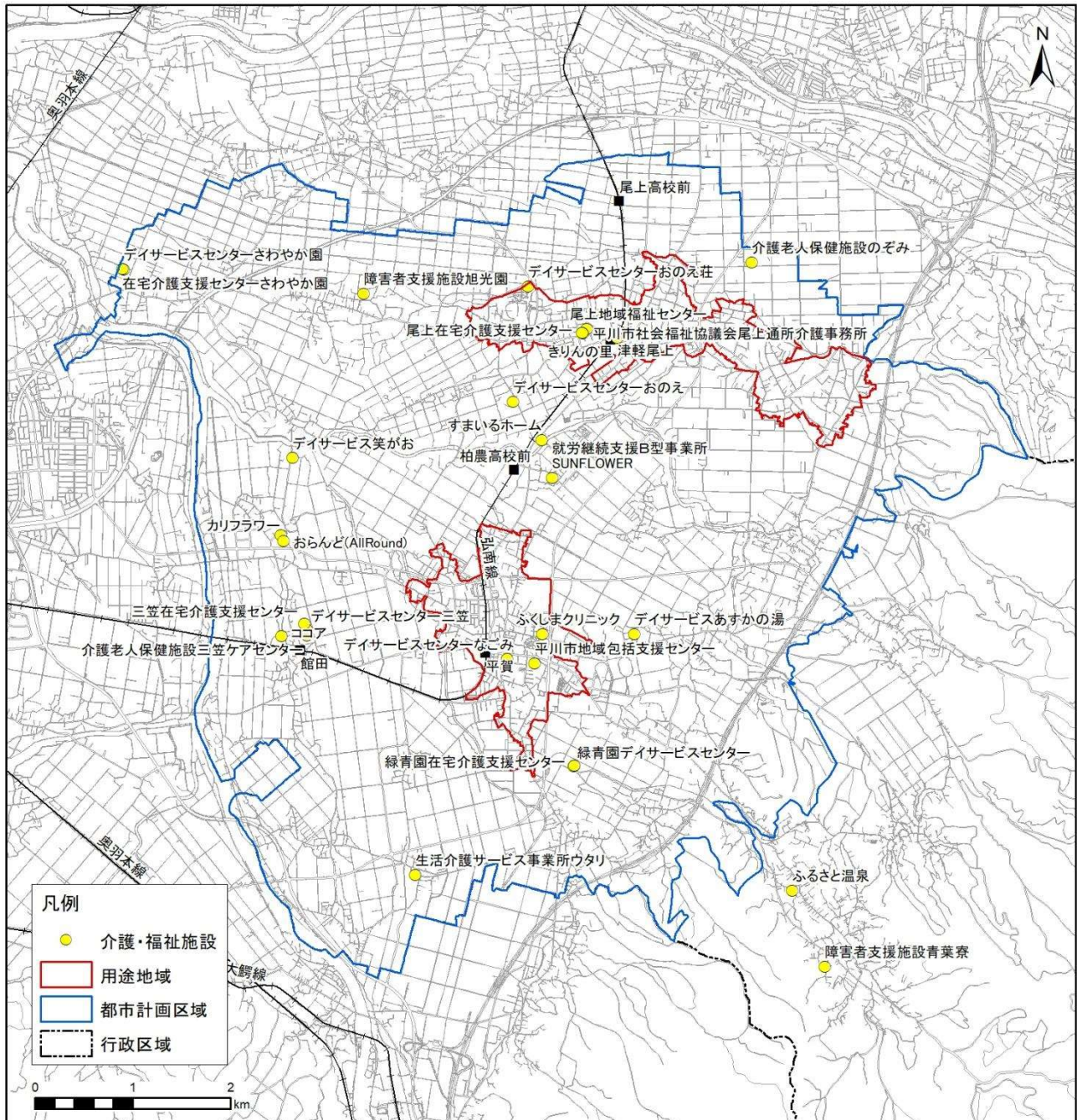


図2.5.4 介護・福祉施設(入所、入居を除く)の分布状況(碓ヶ関・東部地区周辺)

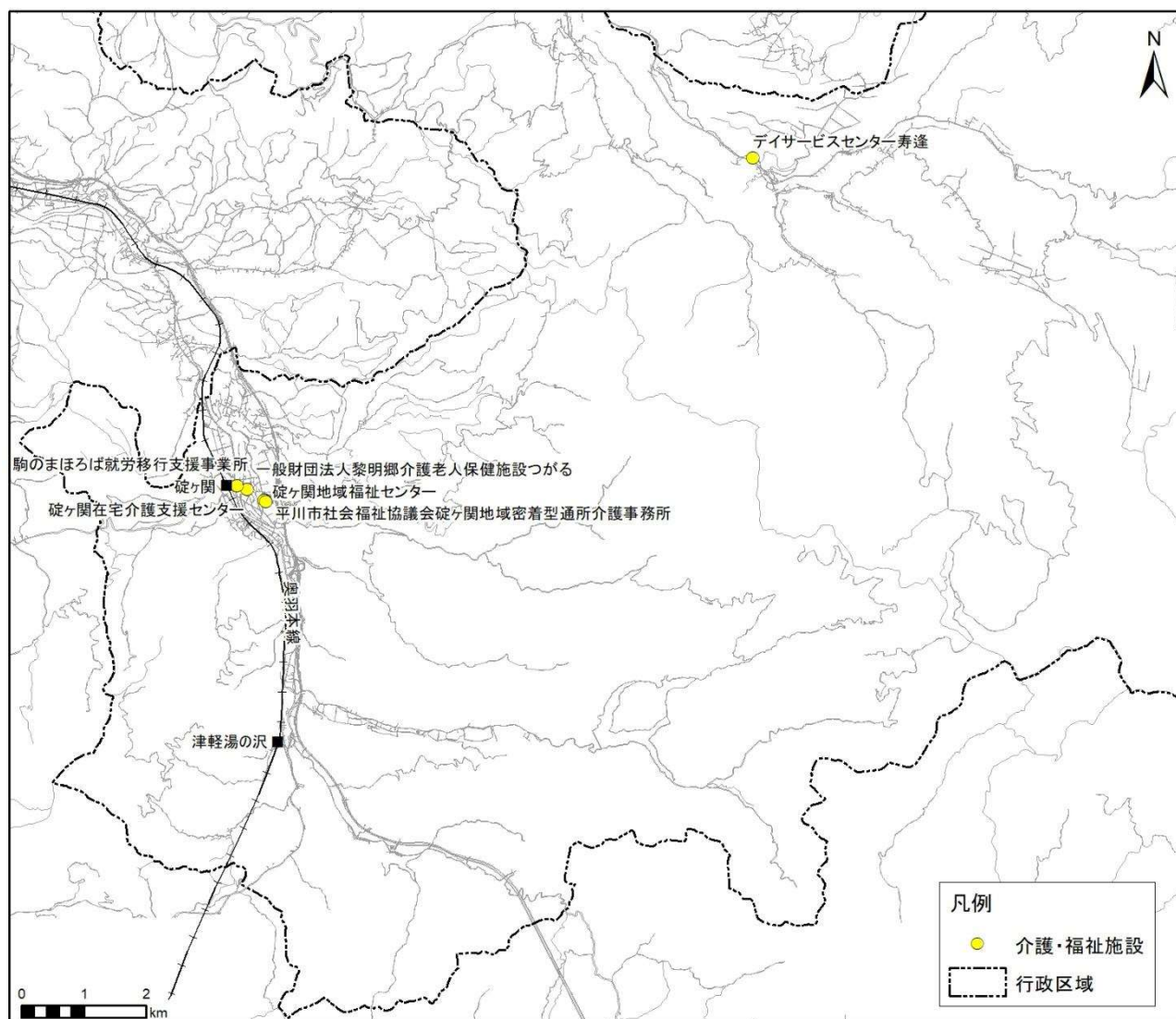


表2.5.2 介護・福祉施設リスト(入所、入居を除く)

No	分類	名称	住所
1	地域包括支援センター	平川市地域包括支援センター	柏木町藤山 25 番地 6
2	地域福祉センター	尾上地域福祉センター	猿賀南田 96 番地 3
3	地域福祉センター	碓ヶ関地域福祉センター	碓ヶ関三笠山 120 番地 1
4	在宅介護支援センター	三笠在宅介護支援センター	館田西和田 200 番地 (介護老人保健施設三笠ケアセンター内)
5	在宅介護支援センター	緑青園在宅介護支援センター	沖館和田 84 番地 (特別養護老人ホーム緑青園内)
6	在宅介護支援センター	尾上在宅介護支援センター	猿賀南田 96 番地 3 (平川市社会福祉協議会尾上事業所内)
7	在宅介護支援センター	在宅介護支援センターさわやか園	日沼樋田 85 番地 (特別養護老人ホームさわやか園内)

No	分類	名称	住所
8	在宅介護支援センター	碓ヶ関在宅介護支援センター	碓ヶ関三笠山 120 番地 1 (平川市社会福祉協議会碓ヶ関事業所内)
9	通所介護	デイサービスセンター寿逢	葛川田の沢口 5 番地 1
10	通所介護	デイサービスセンター三笠	館田西和田 200 番地
11	通所介護	緑青園デイサービスセンター	沖館和田 84 番地
12	通所介護	デイサービスセンターなごみ	柏木町藤山 30 番地 35
13	通所介護	デイサービスあすかの湯	町居西田 111 番地 1
14	通所介護	デイサービスセンターさわやか園	日沼樋田 85 番地
15	通所介護	デイサービスセンターおのえ	中佐渡上石田 36 番地 1
16	通所介護	社会福祉法人平川市社会福祉協議会 尾上通所介護事務所	猿賀南田 96 番地 3
17	通所介護	社会福祉法人平川市社会福祉協議会 碓ヶ関地域密着型通所介護事務所	碓ヶ関三笠山 120 番地 1
18	通所介護	ふるさと温泉	唐竹堀合 59 番地 2
19	通所介護	デイサービスセンターおのえ荘	猿賀池上 100 番地 1
20	通所介護	デイサービス笑がお	館山下扇田 77 番地 1
21	通所リハビリテーション	介護老人保健施設三笠ケアセンター	館田西和田 195 番地
22	通所リハビリテーション	介護老人保健施設のぞみ	李平上山崎 54 番地 1
23	通所リハビリテーション	一般財団法人 黎明郷介護老人保健施設つがる	碓ヶ関湯向川添 30 番地
24	通所リハビリテーション	ふくしまクリニック	小和森種取 23 番地 2
25	生活介護	生活介護サービス事業所ウタリ	原田村元 104 番地
26	生活介護	おらんど(AllRound)	館山前田 80 番地 4
27	生活介護	障害者支援施設青葉寮	唐竹高田 45 番地
28	就労継続支援	障害者支援施設旭光園	猿賀明堂 255 番地
29	就労継続支援	カリフラワー	館山前田 80 番地 1
30	就労継続支援・生活介護	ココア	館田中前田 183 番地 2
31	就労継続支援	就労継続支援 B 型事業所 SUNFLOWER	荒田下駒田 147 番地 1
32	就労継続支援	すまいるホーム	新屋町道ノ下 35 番地 2
33	就労継続支援	きりんの里	中佐渡南田 18 番地 20
34	就労継続支援	駒のまほろば就労移行支援事業所	碓ヶ関山神堂 129 番地 34

2.5.3 子育て支援施設

認定こども園等の子育て支援施設は都市計画区域内を中心に広く分布しています。

図2.5.5 子育て支援施設の分布状況(平賀・尾上地域周辺)

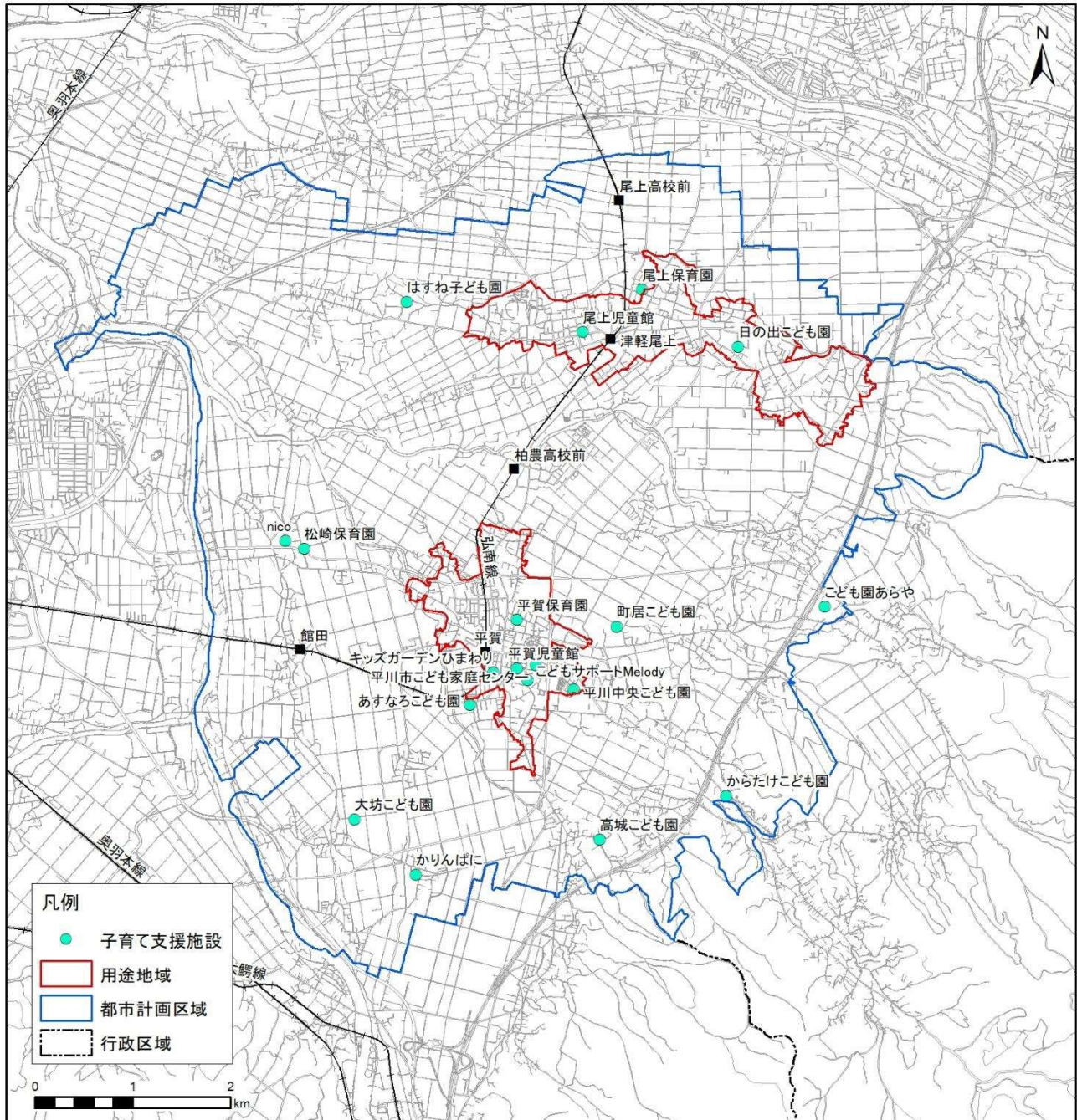


図2.5.6 子育て支援施設の分布状況(碓ヶ関・東部地区周辺)

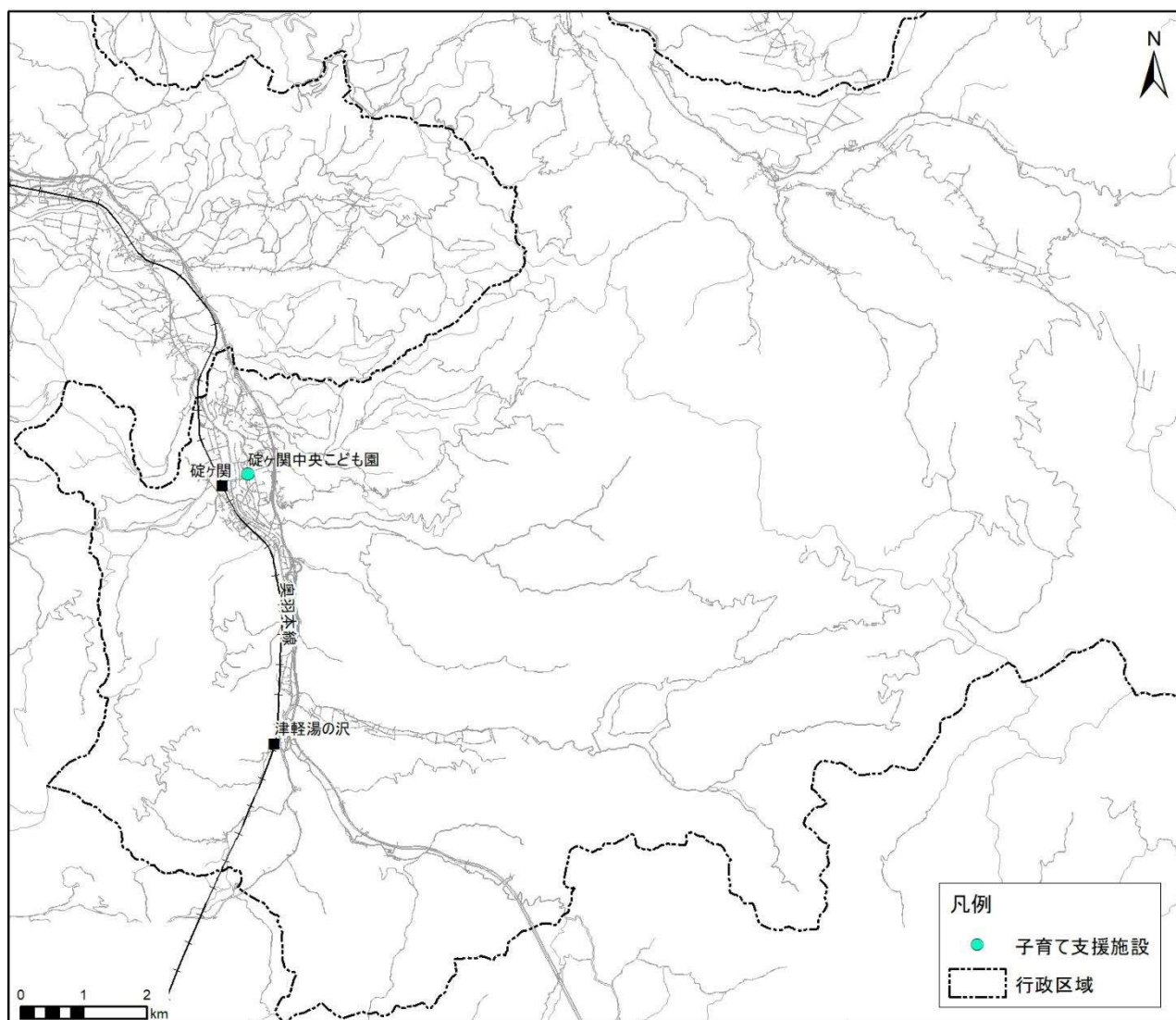


表 2.5.3 子育て支援施設リスト

No	分類	名称	住所
1	子ども家庭センター	平川市子ども家庭センター	柏木町藤山 25 番地 6
2	幼保連携型 認定こども園	平川中央こども園	柏木町東田 65 番地 2
3	幼保連携型 認定こども園	平賀保育園	本町平野 45 番地 1
4	幼保連携型 認定こども園	大坊こども園	大坊前田 137 番地 2
5	幼保連携型 認定こども園	高城こども園	高畑熊沢 164 番地 3
6	幼保連携型 認定こども園	こども園あらや	新屋平野 13 番地 1
7	幼保連携型 認定こども園	からたけこども園	新館東山 102 番地 2
8	幼保連携型 認定こども園	松崎保育園	館山上亀岡 1 番地 1
9	幼保連携型 認定こども園	町居こども園	町居西田 199 番地 4
10	幼保連携型 認定こども園	あすなろこども園	柏木町柳田 246 番地 1
11	幼保連携型 認定こども園	尾上保育園	原上原 24 番地 6
12	幼保連携型 認定こども園	はすね子ども園	猿賀明堂 139 番地 1
13	幼保連携型 認定こども園	日の出こども園	南田中北原 58 番地 86
14	幼保連携型 認定こども園	碓ヶ関中央こども園	碓ヶ関鯨森 92 番地 1
15	企業主導型保育所	キッズガーデンひまわり	本町北柳田 1 番地 51
16	放課後等デイサービス	nico	館山前田 80 番地 2
17	放課後等デイサービス	かりんぱに	原田村元 104 番地
18	放課後等デイサービス	こどもサポート Melody	柏木町藤山 7 番地 18
19	児童館	平賀児童館	柏木町藤山 16 番地 1
20	児童館	尾上児童館	猿賀南田 96 番地 3

2.5.4 教育・文化施設

小中学校、コミュニティセンター等の教育・文化施設は都市計画区域内を中心に広く分布しています。

教育・文化施設は立地数が多いため平賀・尾上地域周辺について図面を2枚に分割しました(①多目的集会所施設、②多目的集会所施設以外)。

図2.5.7 教育・文化施設の分布状況(平賀・尾上地域周辺)①多目的集会所施設

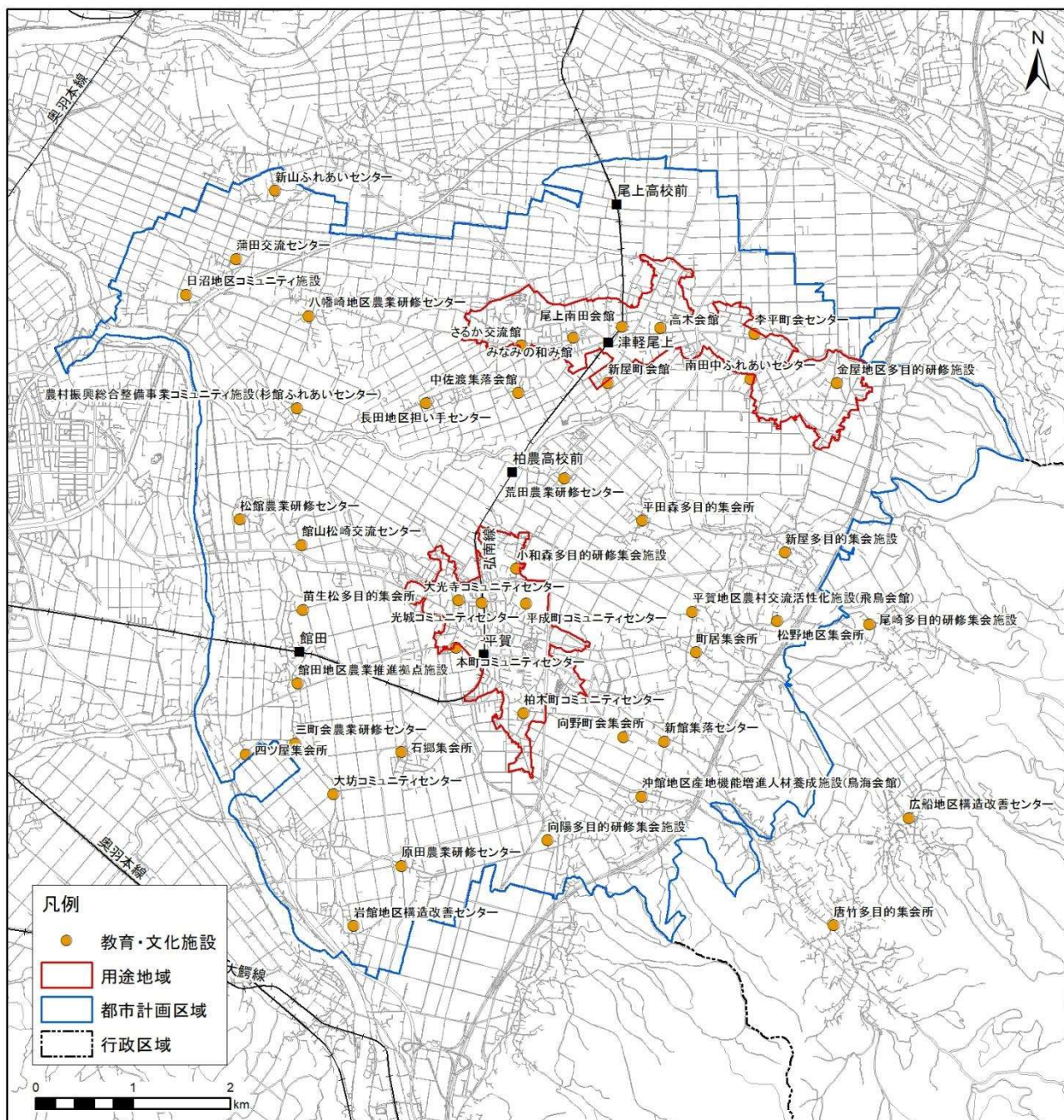


図2.5.8 教育・文化施設の分布状況(平賀・尾上地域周辺)②多目的集会施設以外

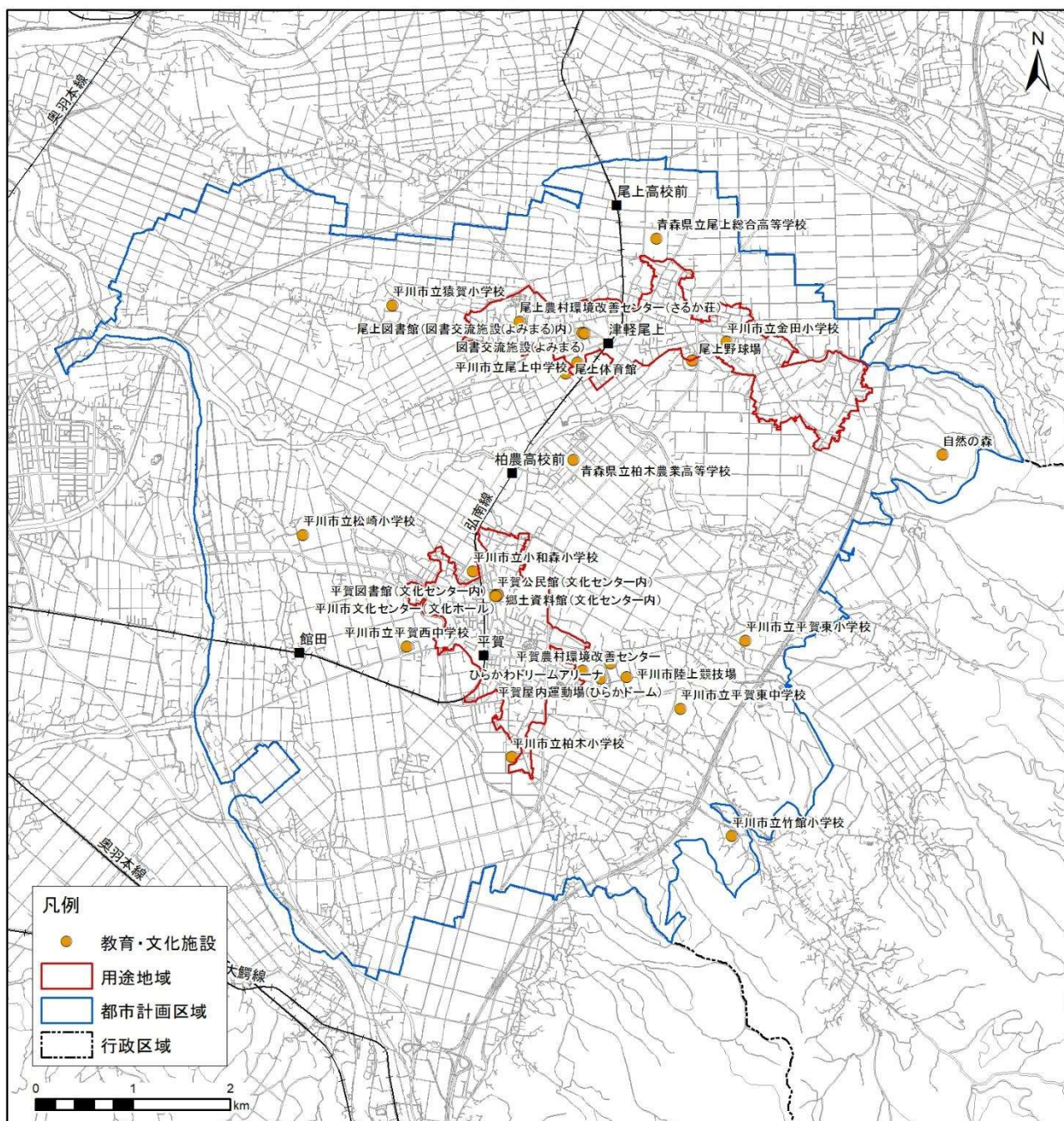


図2.5.9 教育・文化施設の分布状況(碓ヶ関・東部地区周辺)

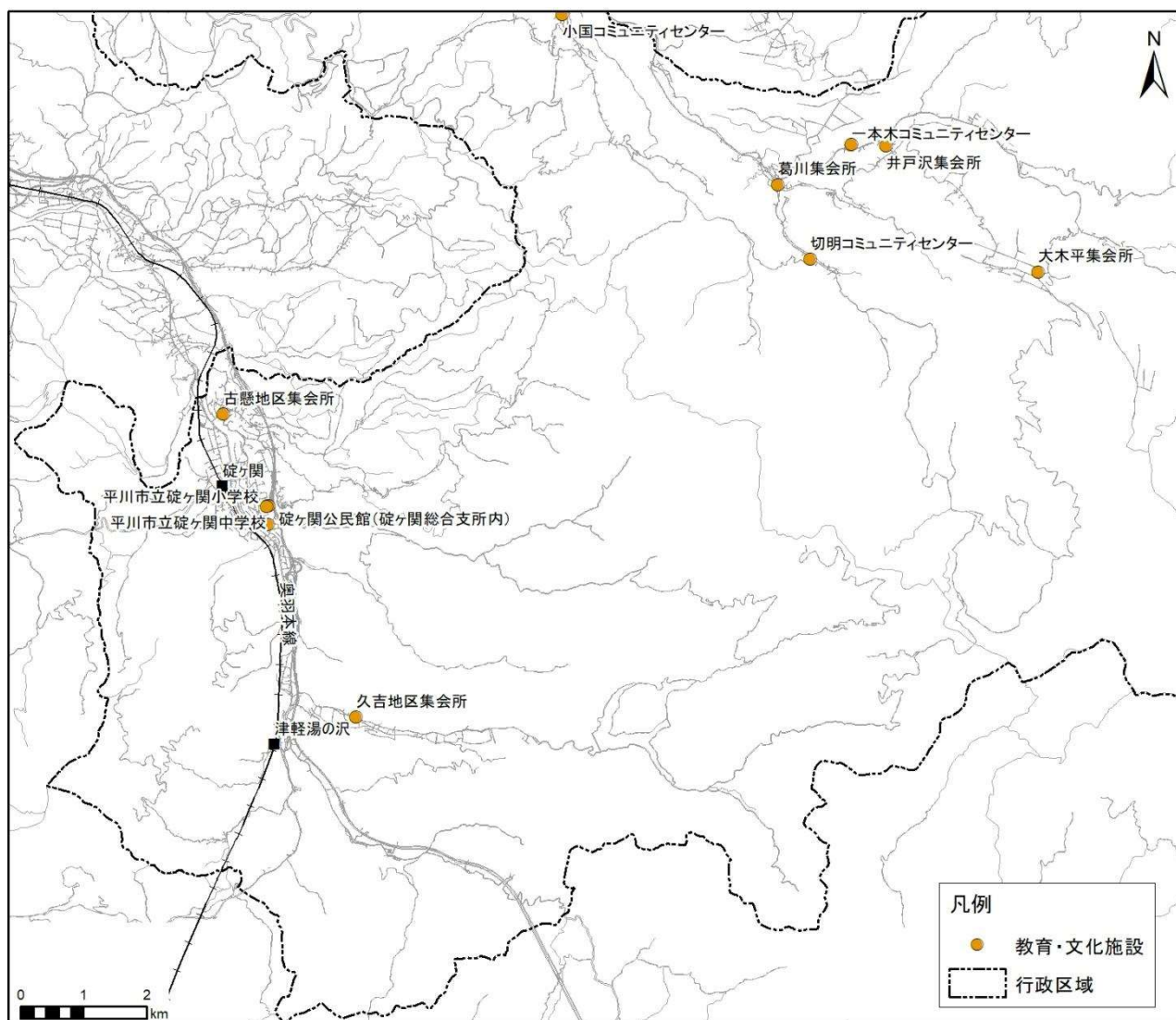


表 2.5.4 教育・文化施設リスト

No	分類	名称	住所
1	小学校	平川市立金田小学校	南田中北原 120 番地 1
2	小学校	平川市立猿賀小学校	猿賀明堂 136 番地 2
3	小学校	平川市立柏木小学校	柏木町柳田 8 番地 2
4	小学校	平川市立小和森小学校	大光寺二村井 166 番地
5	小学校	平川市立松崎小学校	館山上亀岡 5 番地 1
6	小学校	平川市立竹館小学校	沖館永田 34 番地 3
7	小学校	平川市立平賀東小学校	尾崎川合 69 番地
8	小学校	平川市立碓ヶ関小学校	碓ヶ関三笠山 100 番地 2
9	中学校	平川市立尾上中学校	中佐渡南田 49 番地
10	中学校	平川市立平賀西中学校	大光寺白山 13 番地 2
11	中学校	平川市立平賀東中学校	新館後野 104 番地 1
12	中学校	平川市立碓ヶ関中学校	碓ヶ関三笠山 100 番地 2
13	高等学校	青森県立尾上総合高等学校	高木松元 7 番地 6
14	高等学校	青森県立柏木農業高等学校	荒田上駒田 130 番地
15	多目的集会施設	苗生松多目的集会所	館田西和田 205 番地 3
16	多目的集会施設	平田森多目的集会所	平田森稲村 39 番地 1
17	多目的集会施設	唐竹多目的集会所	唐竹苅原 178 番地 13
18	多目的集会施設	大光寺コミュニティセンター	大光寺三村井 70 番地 3
19	多目的集会施設	平成町コミュニティセンター	小和森上松岡 184 番地 2
20	多目的集会施設	本町コミュニティセンター	本町南柳田 84 番地 2
21	多目的集会施設	大坊コミュニティセンター	大坊竹内 225 番地 1
22	多目的集会施設	光城コミュニティセンター	光城 6 丁目 8 番地
23	多目的集会施設	小国コミュニティセンター	小国川原田 2 番地 1
24	多目的集会施設	切明コミュニティセンター	切明坂本 54 番地 2
25	多目的集会施設	一本木コミュニティセンター	葛川一本木平 30 番地 1
26	多目的集会施設	柏木町コミュニティセンター	柏木町東田 167 番地 58
27	多目的集会施設	荒田農業研修センター	荒田上駒田 159 番地 2
28	多目的集会施設	原田農業研修センター	原田今井 121 番地 2
29	多目的集会施設	三町会農業研修センター	小杉稲村 87 番地 1
30	多目的集会施設	松館農業研修センター	松館浅井 29 番地 2
31	多目的集会施設	館田地区農業推進拠点施設	館田前田 289 番地 2
32	多目的集会施設	新館集落センター	新館藤巻 43 番地 11
33	多目的集会施設	岩館地区構造改善センター	岩館下り松 96 番地
34	多目的集会施設	沖館地区産地機能増進人材養成施設 (鳥海会館)	沖館長田 21 番地 4
35	多目的集会施設	館山松崎交流センター	館山上亀岡 5 番地 3
36	多目的集会施設	尾上南田会館	原大野 34 番地 2
37	多目的集会施設	平賀地区農村交流活性化施設(飛鳥会館)	町居横山 341 番地 2
38	多目的集会施設	農村振興総合整備事業コミュニティ施設 (杉館ふれあいセンター)	杉館宮元 72 番地 2
39	多目的集会施設	小和森多目的研修集会施設	小和森松村 4 番地 1
40	多目的集会施設	石郷集会所	石郷村元 261 番地
41	多目的集会施設	向陽多目的研修集会施設	高畑前田 117 番地

No	分類	名称	住所
42	多目的集会施設	尾崎多目的研修集会施設	尾崎浅井 99 番地 1
43	多目的集会施設	四ツ屋集会所	四ツ屋亀田 78 番地 2
44	多目的集会施設	町居集会所	町居山元 141 番地 1
45	多目的集会施設	向野町会集会所	沖館向野 1 番地 22
46	多目的集会施設	松野地区集会所	尾崎稲元 38 番地 20
47	多目的集会施設	大木平集会所	切明温川沢 1 番地 28
48	多目的集会施設	井戸沢集会所	切明上井戸 42 番地 6
49	多目的集会施設	葛川集会所	葛川家岸 13 番地
50	多目的集会施設	八幡崎地区農業研修センター	八幡崎宮本 85 番地 3
51	多目的集会施設	金屋地区多目的研修施設	金屋上松元 46 番地 9
52	多目的集会施設	李平町会センター	李平上安原 62 番地 1
53	多目的集会施設	蒲田交流センター	蒲田元宮 30 番地 3
54	多目的集会施設	新山ふれあいセンター	新山岡部 66 番地 2
55	多目的集会施設	長田地区担い手センター	長田沼田 32 番地 2
56	多目的集会施設	新屋町会館	新屋町松下 86 番地 4
57	多目的集会施設	日沼地区コミュニティ施設	日沼高田 104 番地 2
58	多目的集会施設	さるか交流館	猿賀遠林 1 番地 2
59	多目的集会施設	南田中ふれあいセンター	南田中西原 130 番地
60	多目的集会施設	高木会館	尾上栄松 37 番地 1
61	多目的集会施設	みなみの和み館	猿賀南田 88 番地 1
62	多目的集会施設	久吉地区集会所	碓ヶ関水溜 16 番地 3
63	多目的集会施設	古懸地区集会所	碓ヶ関古懸南不動野 8 番地 3
64	多目的集会施設	広船地区構造改善センター	広船福田 207 番地
65	多目的集会施設	新屋多目的集会施設	新屋栄館 54 番地 6
66	多目的集会施設	中佐渡集落会館	中佐渡前田 32 番地 1
67	集会場	平賀農村環境改善センター	新館野木和 20 番地 1
68	集会場	尾上農村環境改善センター(さるか荘)	猿賀池上 45 番地 1
69	文化センター	平川市文化センター(文化ホール)	光城 2 丁目 30 番地 1
70	図書交流施設	図書交流施設(よみまる)	猿賀南田 15 番地 1
71	図書館	平賀図書館(文化センター内)	光城 2 丁目 30 番地 1
72	図書館	尾上図書館(図書交流施設(よみまる)内)	猿賀南田 15 番地 1
73	公民館	平賀公民館(文化センター内)	光城 2 丁目 30 番地 1
74	公民館	碓ヶ関公民館(碓ヶ関総合支所内)	碓ヶ関三笠山 78 番地
75	郷土資料館	郷土資料館(文化センター内)	光城 2 丁目 30 番地 1
76	スポーツ施設	平賀屋内運動場(ひらかドーム)	新館野木和 48 番地
77	スポーツ施設	平川市陸上競技場	町居南田 252 番地 1
78	スポーツ施設	ひらかわドリームアリーナ	町居南田 249 番地
79	スポーツ施設	尾上野球場	新屋町北鶉野 15 番地 1
80	スポーツ施設	尾上体育館	中佐渡南田 95 番地 4
81	野外レクリエーション施設	自然の森	金屋上早稲田 165 番地 3